



いつもここにある一息つける場所



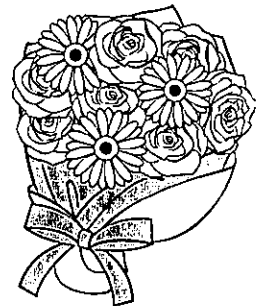
仲嶺 真弓

2018年度の最終園児数は120名 職員は37名で子どもたちの成長を見守りました。

今年度は次々に起こる出来事に心身ともに休まる間もなく、ただただ日々できることを積み重ねながら、深く考えさせられることが多い年でした。自然災害に見舞われることが多く、予定していた行事も延期・中止が幾つかあり、行事に出席するために、単身赴任で遠方から帰省されていた保護者に残念なお知らせをすることもありました。大阪北部地震や、9/4 近畿圏に上陸した台風 21 号は、園児・保護者・職員の安全確保を常に考えなければならない緊張の連続でした。台風で倒れた門などは無事修復できましたが、自然災害とは別に、開園から7年経つと、園舎もあちらこちらが傷みだし、電気機器の不調も目立ちだしました。地域の拠点の1つとして立ち上げた大切な保育園。メンテナンスを忘れず、引き続き大切に労わりながら管理していきたいと思います。職員会議では、日々の自分たちの行動は自分たちが目指すべき方向（つばさ共同保育園のしおりの1~2 ページに書かれている「共同保育園」に込めた思い”大切にしていること”）に向かっているのかを問いつつ、考えることを繰り返しました。自分たちの日々の保育は、しっかり子どもの声を拾えているのか、日々の保護者との関りは、子育ての応援団としてサポートできているのかなど、議題は尽きることがありませんでした。今年度議論したことを糧に次へ進みたいと思います。いよいよ今年度も最終月となりました。2018年度のぞう組は17名です。一人ひとり持ち味が違う個性豊かな子どもたちが卒園を迎えます。卒園予行で子どもたちの心身ともに大きく、たくましく成長した姿を見て心が熟くなりました。毎年訪れるこの時期が、嬉しくもあり寂しくもある…なんとも複雑な思いにかられる3月です。卒園しても、子どもも大人も、いつもここにある一息つける場所ですという思いを込めて残り1か月を大切に過ごしたいと思います。

アトム共同福祉会では、職員もこの3月で定年退職を迎える者がいます。現在は姉妹園のアトム共同保育園で働いている上野由美子です。上野は7年前につばさ共同保育園を開園した年に、0歳児担任として働いていたこともありましたが、定年後も保育サポーターとして力を貸してくれますがここで一区切りです。そしてつばさっ子11月号の巻頭で理事長から新体制についてのお知らせをしましたが、2019年4月からアトム共同保育園園長が、田丸あけみから野中 泉に交代することになりました。田丸は家庭の事情で園長職を退くことになりましたが、4月以降も引き続き勤務します。

つばさ共同保育園では、パート職員として働いていた井上 涼が、3月末で退職することになりました。保育士資格修得を目指して、働きながら勉強する日々を重ねていた井上でした。彼女の頑張りや、陰ながら応援してきましたが、つばさ共同保育園で働く良さを感じながらも、他の保育園も見てみたいという彼女の向上心が嬉しく、また出会う日を楽しみに彼女の門出を後押ししたいと思います。以下の文章は井上からのメッセージです。



この度、3月いっぱいにつばさを退職させていただく事となりました。保育士の資格を取得しようと思ったことから職場を探し、この辺りでは資格取得より前に保育補助として働かせてもらえる所はつばさしなくて、経験もない私を快く受け入れていただいた事には本当に感謝しています。

毎日が必死で毎日が勉強で、職員の皆さんは本当に優しく、時に厳しく接して下さいました。病気やアレルギー、子どもたちの安全の確保をしながら保育する事の大変さを実感しつつ、やっぱり子どもと関わるのが好きだなと改めて感じました。

資格をきちんと取りたいのと、つばさと他の園の違いを知りたい気持ちがあるので、短い期間でしたが退職という判断に至りました。すぐ緊張するので上手く話せませんでしたが、たくさんの保護者の方々に気さくに声をかけていただき、本当に本当に嬉しかったです。2年半、大変お世話になりました。つばさに来て、皆さんと出会えて本当に良かったです。

またいつか帰って来たらなと思っています、ありがとうございました。

井上 涼

カンガルーの会（つばさ保護者会）から、¥4,756の寄付金をいただきました。ありがとうございました。